

機関紙発刊のあいさつ

岐阜県博物館協会会長

岐阜市長 松尾 吾 策

岐阜県博物館協会が誕生してかれこれ四、五年になろうかと思えます。当協会は県下各博物館及び郷土館などが自発的に寄り集まり、結成されたもので、当初から補助金などなく、財政的に弱体であるため、協会事業の大きな活躍は期待できなかつたのであります。

最近日本の自然及び古文化財など、伝統的なものは、合理主義・進歩主義の波に吞まれて破壊寸前にあるため、一部有識者の間から、日本的なもの、素朴なもの、古文化的なものを保護しようとする声も、ほうはいとして高まりつつあります。

古い諺に、「ローマは一朝にして成らず」とありますが、われわれの祖先が今日まで伝えてきた文化的遺産

創刊を祝して

今日のように、世界的なテンポで社会が変り、ていくときには、文化とかが、伝統とかが、伝承ということを、意図的に考えることが大切です。

とりわけ博物館において、文化遺

を保護し、それを後世に伝えることは現代人の責務であります。さらに博物館運動は単に古いものだけに捕われることなく、新しい時代の息吹に目ざめ、自然科学・人文科学の両面をも取り入れて、人類文化の発展に寄与すべきであるのはいままでもないこととあります。

この度岐阜県博物館協会では、この方面のPRに乗り出すとともに、新しい科学の啓蒙に寄与するため機関紙を発行することとなりました。転換期にたつ博物館としては、旧来の殻を脱皮して、新しい博物館のあり方について、皆さんがどうしてよいお智慧を拝借して、より充実した博物館へ発展向上して行くことを心から期待してやみません。

岐阜県教育長 深井 重三郎

産を収集したり、整理・保存・保護して、一般市民にそれを公開することは、この文化を伝承する岐阜県の存立と繁栄をささえる基礎的な役割を果たすものであり、他方では、ひと

りひとりの生活を地域社会で確立し
充実させるのに、積極的な援助をす
ることになるものです。

かように考えてまいりますと、今
回、県下の博物館関係者や、文化、
自然科学資料等に深い理解と関心を
もたれる有志各位によって、機関紙

「岐阜の博物館」を発行されること
は、文化遺産を鑑賞し、伝統の中に
本質的な価値を見つけようとするひ
とひとにと、極めて意義のある
ことであると、心からお祝いをします。



「岐阜の博物館」刊行を祝して

日本博物館協会会長 徳川 泉敬

岐阜県の博物館協会が結成され、
県下の博物館施設が手をつないで社
会教育活動にあたられますことは御
同慶の至りですが、またこのたび機
関紙を創刊されることに相成りまし
たことは、関係者の御熱意の然らし
むる処でありまして、深く敬意を表
するものであります。

わが国の博物館は、国・公・私立
からなり、自然科学、人文科学にわ
たる広い学問の分野を占め、その所
蔵資料によつて多くの種類にわかれ
ますが、それぞれ機能の充実をはか
り、高い水準への発展を目指して運
営に努力しております。日博協の調
査では、既に全国の博物館及び同類
の施設は千二百余に達しています。
私はまず、府県内の館・園の連絡・
協力から、次第に府県スロウクの協
力へ、そして全国的な協力体制へと

進めることによつてこそ、社会教育、
社会文化を推し進めることが可能と
なると考えます。元来教育の立場か
ら考えれば、人生は教育の連鎖であ
ると云えましょう。生涯という教育
から、学校教育、或は家庭での教育
というものを除けば、すべて社会教
育に抱括されましょう。学校教育は
教育の基礎的な土台づくりであり、
社会教育は人間形成の主軸の部分で
あると思えます。今や社会の構造は
留て考えられなかつた変貌をしてお
ります。情報はマスコミにより、地
球の隅々から数秒にして、限りない
数量・多様性で受け入れているので
あつて、このような情報時代に、博
物館の機能はいかにこれにマッチさ
せていくのか、大きな課題となつて
きました。博物館が所蔵し展示して
いる資料は、どのようにマスコミを

通じ、或は情報の内容と成って働いてい、たうよいが、博物館はまさにその方法を見出さなければなりません。社会は知識を追求し、レジャーの活用として健全な娯楽性を求めてやみません。博物館こそは、庶民の大学となって、楽しい教育の場を作

らなければならぬと考えます。そのためには、博物館の協力体制が本質的に必要となります。博物館が新たな方向を求める手段として、連絡紙が大いに充実し、活用されることを期待します。



新春を寿ぎ
貴館・園のご発
展を祈ります。
岐阜県博物館協会

★博物館学メモ①
ミュージアム(博物館)
の起源

エジプトのアレキサンドリアは、プトレマイオス家の王宮所在地であった。紀元前305年から王と号したプトレマイオス1世は、優れた政策と莫大な経済力にものをいかせ、数々の優れた業績を残した。アテネからの亡命学者デメトリオスの示唆により、「ムーセオン」mouseionなる学問所を設けた。大学者が静かに研究することは、ギリシャ神話の文芸・美術の女神Museに奉仕するこ

とになるということから、the temple of the Muse (ミューズの神の殿堂)が語源である。

前283年に後を継いだプトレマイオス2世は、父の意志を受継いで、自然科学を奨励し「ムーセオン」の充実・完成に努めた。アレクサンドリア宮殿の一部が建物として使われ、図書室・講演室・動・植物園まで付設され、天文・解剖・象牙などの資料も整備され、自然科学のメッカとなったのである。この世界最初の博物館も、ローマがエジプトを支配するに及び衰退し、4世紀末には火災で炎と消えてしま、たのである。

お出かけください

館園紹介 No. 1

郡上八幡大鍾乳洞

さいきん県下の鍾乳洞も観光地として開発され、一般に公開されている。後驛の丹生川村のもの、関ヶ原のもの、それに奥美濃には白馬洞とこの郡上八幡のものとはある。

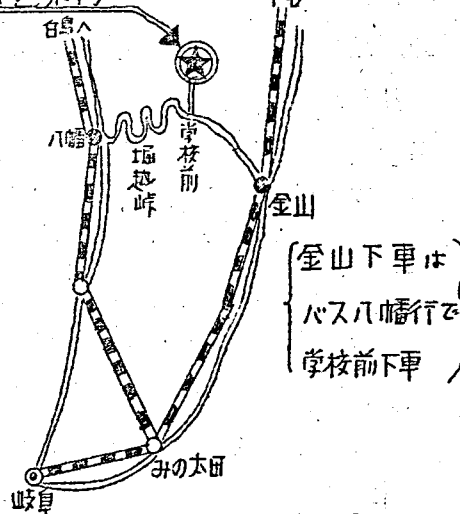
暮れもど、た12月末の日曜日に、タニシの宍崎先生と二人で、オープンして約半年という、この郡上八幡大鍾乳洞を訪れた。

例年になく早い雪の訪れに、山々や田畑もす、かり白一色の銀世界。それでも舗装道路は雪もなく、快適なドライブは約1時間半で、目的地に着いていた。途中八幡町内のわがりにくい街路等は、道標が整備されていて、迷うことなく瑞穂峠へと導かれていた。

ひ、そりと静まりかえ、た山の中に、真新しいきれいな食堂が建てられていた。その奥山で、石灰岩の露出が多く、ここに立穴式の鍾乳洞がある。現在は、この小山の中をひら洞内に入り、山奥へと抜け出るよう、観察コースが約600m整備されている。

洞内に入ると、鉄分が多いため、

交通案内



問合せ先：郡上郡八幡町美山
TEL. (0575603)-17

や赤味をあびた石灰岩壁が、照明に映えて、ひとときの美しく、まさに、地下に眠るこの世の御殿というふんい気にひたれる。

「カチーン、カチーン」としきりに聞こえてくるのは、現在、更に下へ下へと観察コースの整備中で、その作業の音。禱菜は全長1500m余になるということです。

景の豊くなるような長年月の時間がかかり、で、天然自然のままにできた石灰洞；……その神秘的な変化に留んだ美しさは、万人の心をうたずにはいないし、文章ではとても書き現わしえない。ひとりひとりがかやは

り自分の目で見、自分で感じと、てもらうのがいい。ぜひいちど出かけてみてください。

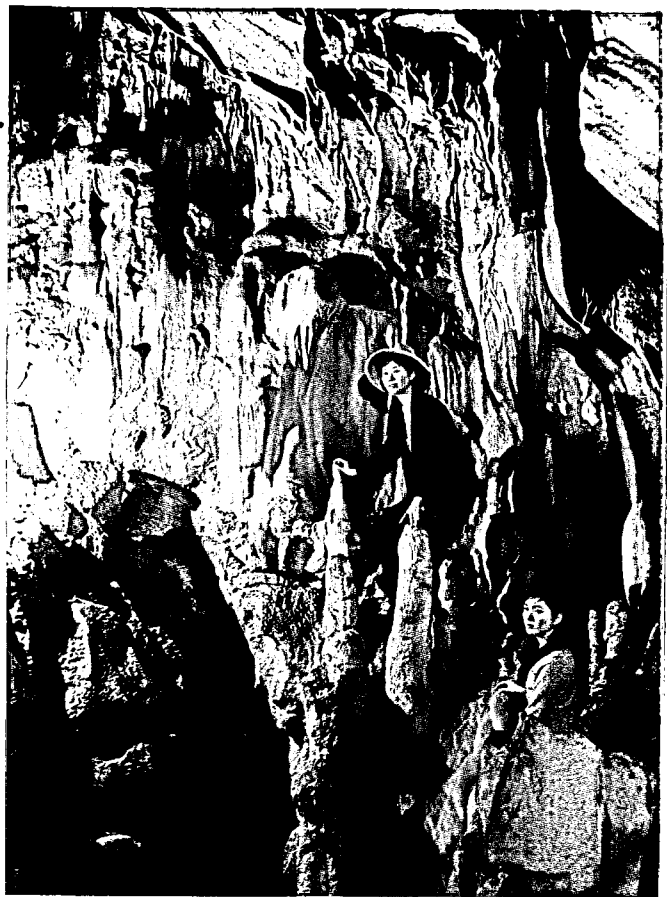
わたしたちは、ていねいに見てまわったため、約2時間を洞内ですごしたが、普通に見てまわれば40分～1時間もあればいいだろう。

山頂の出口へ出ると、東の空には、壺峰御岳山が真白に輝き、その裾野を大きく広げた雄大な姿が、印象的であった。

現在は、まだ全ての面で整備の途中であるこの洞は、美山観光開発株式会社の経営によるものであるが、これは、山村農家の新しい方向を求め

つつ、外資導入を併して、地元美山地区の人々の出資によるものだろう。今後のご発展を大いにお祈りしたいものです。

ただここで望みたいことは、地元の資本で、新しい山村農家のあり方、地域開発をしていくときに、この鍾乳洞を大いに利用・開発すべきだと願いますが、この自然の恵み、宝物を、ただ珍しい美しい……からと昔からの見せ物的な観光施設に終らせたいをほしいと思う。



どこの鍾乳洞にもあるように、洞内の各個所に「〇〇の霊殿」とか、奥に数多くの名所が名づけられているが、加えて、自然科学的な配慮のもとに公開する工夫があつてもいいのではないだろうか。たとえ遊び半分に見に入つても、出てきたときには、多少なりとも、自然を見る目が変つたり、心が広くなつたりした人間になつている……それが今後長続きする観光施設のあり方ではないだろうか。あくまでも自然の中での博物館へと進んでほしい。(文書14)

棚橋源太郎伝 (1)

宮崎 惇

《はじめに — 編集部より》

わが国の博物館が今日あるのは、棚橋源太郎先生のご尽力に負うところが多い。博物館館長の親といわれる由縁である。先生の偉業については、1968年当協会発行の「岐阜県の博物館変遷」で簡単に紹介させていただいた。

国際的に認められておられる先生の業績に対して、岐阜県である本県が、存することなくうすめておくのは、いかに申し訳ないと、おくれればせながら、当協会の昨年度総会において、先生の一伝記をまとめ、後世に伝えるべく決議され、その調査を宮崎氏に依頼し、本誌に連載してもらうことになった。またまた不明の点が多いというごであるが、棚橋源太郎先生について、少しでも知ってあられる方は、ご連絡をまわり、より確かなものにしたらのご協力をお願いする。 (執筆者 宮崎氏の住所は〒501-61 岐阜県羽黒郡笠松町末野 TEL(05839) 8-1920)



揖斐街道を西へ進み、

しじの川。この6月であら。

北方町にたどりつくと、県立の農林高校がある。町制がしめられるまでは本巣郡北方村といい、この付近を森町と呼んだ。同じ森町の西はずれに近い街道を北側に棚橋源太郎の生家があった。

農業を営む祖父は助右衛門といって、維新前までは隣村である加茂村の村役人を勤めた程の人で、中々羽振りをきかせていた。助右衛門には子供がなかつたので、身分がら読み書きソロバンの長者な橋養子を得たいと望んでいた。さいわい同じ郡の本田村材木商馬淵家から話があり、迎えられるので源太郎の父清六である。母ゆきは方県郡(後に稲葉郡、現岐阜市)木田村柿ヶ瀬の松尾家から、棚橋家へ嫁いだ。

もちろん当時は、ひやぶぎの平家^{ひらけ}で、その生家の裏には蔵と物置小屋があり、物置の半分を馬家にして、馬を一頭飼っていた。

源太郎が呱呱の声をあげたのは、わが国が近代国家として出発しようとしはじめた、明治維新まもない明治2年(1869)6月2日であつた。5月にようやく維新戦争が終り、藩籍奉還を断行し、諸侯の政治勢力をうばい公卿や諸侯を華族と呼ぶことに

ゆきは長男源太郎を柿ヶ瀬の実家で生んだ。桑名へ通う舟をこいでいた兄は帰るなり、「男が！あゆき、百両もうけた！ー」と男子出生を祝ったものであつた。《つづく》

館・園・ニュース

◎名和昆虫博物館

- ・名和正男館長、インド・ネパール・タイへ海外取材旅行(45.1.22→2.4)
- ・万国の昆虫展 (45.4.1→9.30)
期間中は特別入場料

大人	50円	割引	40円
高校生	40	〃	30
中小生	20	〃	15

- ・名和館長、ヨーロッパへ各国の博物館と昆虫関係の視察旅行(イギリス・フランス・イタリア・スイス・西ドイツ・オランダ・ベルギー)(45.4.8→4.27)

◎郡上八幡城

- ・改修工事も終わり美しくなりました。八幡城まで普通自動車で登れるようになりました。
- ・入館料が大人30円→50円に!!

◎浅見化石コレクション

- ・浅見化石会館から上記に名称変更。
- ・吉城郡上宝村の露の巣サンゴ5点に新しく資料となりました。

◎奥明方村立博物館

- ・奥明方中学校民俗博物館(学校立)が村立に移管され、中学校に4階が増築され、その為105坪に展示。
- ・無料開放、事前に問い合わせからお出かけ下さい。
- ・目下村の生業にかかわる鉱山・山

仕事・製糸業・養蚕・畜産方面の資料を収集中。

◎那比新宮宝物庫

- ・入館料50円→100円と存りました。
- ◎航空自衛隊岐阜基地広報館
 - ・44.12.5より旧陸軍機「飛燕」展示中。(昭和18年春ニューギニアに配属以来、フィリピンや本土防衛、特にB-29の要撃に活躍したもので、終戦時まで124機作られたが、現存する唯一のものです。)

◎下呂温泉台掌村

- ・下呂町無形文化財・竹原文楽を上演しています。

*開演時刻 朝9時 12時40分
午後4時 の三回、

日・月・祭日はこの外に

10時10分 14時の2回追加

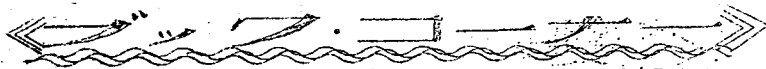
*水曜日は休演日です。

◎祐教コレクション付知峡博物館

- ・入館料大人100円小人50円になりました。

◎岐阜公園

- ・山子畳敷広場を整備中、そこに像信長公の計画もあります。アイデア・発案等ある方は、公園課まで御一報下さい。
- ・水族館開館 AM 9.00 → PM 4.00



博物館人必読の書

- ◇「よき博物館にするために」
博物館学研究会誌 1968年刊
- ◇「博物館組織 — その実務的アドバイス —」
東京国立博物館内・国際博物館会議日本委員会誌発行1965年刊
- ◇「博物館列品管理の方法」
同上誌発行 1967年刊
- ◇「博物館関係法令規則集」
日本博物館協会編 1969年刊
定価；送料ともを 335円
以上4冊は日博協で扱っています。

御希望の方は下記へお問合せ下さい。入手できると幸いです。

〒110 東京都台東区上野公園13
の9
東京国立博物館内
日本博物館協会事務局

- ◇「博物館・美術館史」
棚橋源太郎著・長谷川憲房
1957年刊 500円
- ◇「建築学大系(34) 博物館の項」
河合正一著・彰国社
1966年刊 1700円



お知らせとお願ひ

本紙は、隔月発行の年6回を予定しています。毎号紛失されないよう、ファイルなど用蕪くたさ、て保存していただきたいと思います。また来館者の人々の目にとくところろに保管されるのもいいと思います。

館・園の横の結びつき・交流を深めるためにも、ニュースランを充実させたいものです。どんどん記事お寄せ下さい。用紙はお送りしました。

◎岐阜県博物館協会々員外の方には、本紙年額300円を配布いたします。協会事務所までお申込み下さい。

原稿をお寄せください

内容は一切制限を加えません。日頃考えていること、当館の苦しみ、わたしの悩み・協会への提案……此、気象にどんどんお寄せ下さい。

編集後記

●編集もガリギリ・印刷……全てスブの素人の自我流、誤字脱字の多い点愛しからず……。

●問題の70年！博物館相互の一大飛躍の年！本紙への絶大な御支援と御協力を！（S.O）